

## 佐藤水菜、女子スプリントで初戦突破、太田りゆとの同国対決、ゴール前でかわす【自転車トラック世界選手権】

【グラスゴー（英国） 八手亦和人】自転車トラック種目の世界選手権第 5 日は 7 日、当地で行われ、女子スプリントの佐藤水菜（24）＝日本競輪選手会＝が 1 回戦を突破した。太田りゆ（28）＝同＝はその佐藤に敗れて 1 回戦敗退。梅川風子（32）＝同＝も 1 回戦を勝ち上げられなかった。また、梶原悠未（26）＝TEAM Yumi＝と内野艶和（21）＝日本競輪選手会＝のコンビで挑んだ女子マディソンは 8 位入賞と健闘。男子エリミネーションの橋本英也（29）＝同＝は 13 位に終わった。



前日のケイリンは準々決勝 5 位降格の結果に終わった佐藤だが、今大会最後の種目となるスプリントは順調な滑り出しを見せた。予選のハロンのタイムは 10 秒 834 で 16 位も「脚が重くていいタイムではなかったが、やることはやった」と納得顔。

同 17 位の太田との同国対決となった 1 回戦は、ゴール前でかわして勝利した。6 月のアジア選手権では太田の後塵を拝しているだけに「反省を生かした」とリベンジにも成功した。

8 日の 2 回戦の対戦相手は予選をトップ通過している地元英国の新鋭。「この大会だからケイリンは大きなミスとなったが、得られるものもあった。相手とのタイム差はあるがしっかりと戦う」と気持ちを引き締めた。

## 女子マディソン、梶原悠未&内野艶和コンビが8位入賞の快挙【自転車トラック世界選手権】



女子中距離の成長を証明する残り20周での5ポイント獲得だ。梶原と内野のコンビで挑んだマディソンは8位入賞の快挙。世界選手権の舞台では完走すら難しかったのに、ポイントを獲得してみせた。「120周のうちで1回できたのは成長。あと2、3回できるようになれば上位に入れる」と梶原。内野も「点を取らないと順位は下がる一方。力を振り絞りました。無駄な脚を使わなければもっといい成績を取れる」と振り返った。男子は銀、銅を獲得するなど中距離陣は勢いに乗っている。金の期待がかかるのは、もちろん梶原のオムニアム（9日）。「（男子オムニアム銅の）今村君は同い年。彼の努力は知っていて本当に報われたと思う。このいい波に乗っていきたい」。3年ぶり2度目の世界選手権優勝を狙っていく。